

第 3 7 回技術研究発表会 梗概 < I 論文 >

B.情報・防災

【HP 掲載No. B04】

発表No.	B04
タイトル	都市・まちづくりと連携し基幹的交通軸を成すバス輸送システム ～公共交通ネットワークとウォークアブルが融和した魅力ある骨格軸の形成計画～
所属・名前	国土交通省 国土技術政策総合研究所 小笠原 裕光 国土交通省 国土技術政策総合研究所 新階 寛恭 国土交通省 総合政策局 吉田 純土 株式会社トーニチコンサルタント 福島 利彦 公益社団法人日本交通計画協会 萩原 岳
キーワード	① 立地適正化計画 ② 交通まちづくり ③ BRT
コンパクト・プラス・ネットワークにより密度の経済性を発揮した持続可能な都市構造の実現を図る上で、都市の骨格をなす基幹的交通軸が形成され高密度な移動を支えるよう機能し、交通拠点や支線・端末交通等とネットワークを構築していることは重要である。軸を形成する公共交通のひとつに BRT 等のバス輸送システムがあるが、LRT や地下鉄等と比較し、初期投資が抑えられる、計画から運行開始まで短期間で施策が実現できる、路線再編や延伸・変更が柔軟に行える等の特長がある。路面を走行することから、人中心のウォークアブルな歩行者空間づくりや沿道土地利用、都市機能や居住の集約・誘導とも親和性が高く、これら取り組みと相乗効果を発揮し、サービスクオリティの観点から利用者のライフスタイルに寄り添った都市交通の実現が求められる。 本研究では、基幹的交通軸を成すバス輸送システムの導入にあたって、都市・まちづくりとの連携による効果的な都市交通計画の進め方に着目し、2019 年度から 2024 年度に行った国内外 62 都市の調査成果から、計画実務の技術的知見をとりまとめた。	